



水が細い管や狭い隙間を重力にさからって進んでいく現象のことを「毛細管現象」と言います。今回は、釣りに使うナイロンテグスの束で毛細管現象が起こることに着目し、それを応用して時間表現装置をつくることを試みました。

中心部分の水槽からは、約三万本のテグスが放射状に伸びていて、毛細管現象によって水槽の中の水は常に外側に向かって運ばれています。そこにインクを垂らすと、テグス内部の水の流れに乗ったインクがゆっくりと外側に広がっていきます。

時計の短針からは黄色のインクを、長針からは青色のインクを垂らすことで、二つの色が別々のスピードで回り始め、一時間に一回、交差した地点で緑色が生まれます。

情報・プロダクトデザイン

テグス・木材・樹脂・金属・電子部品 H90cm×W200cm×D200cm 1点

令和6年度 筑波大学芸術専門学群 卒業研究・作品集より

このコーナーでは、筑波大学芸術系ならびに同大学の芸術専門学群を卒業された方々のご協力のもと、芸術作品を掲載しています。